岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川江の川水系 神宮寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	R3-Bor.No.4	調査位置	広島県庄原市口和町（管理道No.8　L2.5）	北　緯	34° 55′ 05.9330″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和4年 1月 5日～ 令和4年 1月 6日	東　経	132° 53′ 40.1696″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 343.05m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90°東 180°南 270°西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNFD-13K型 / ポンプ：東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	341.45	1.60		砂質シルト	褐							0[0]100 0[0]100	粘性強い粘性土。含水は少ない。 細砂を30%程度含む。 植物根を混入する。 φ10～70mmの礫が点在する。	
2	340.45	2.60		泥岩	淡褐灰	w5	h2					0[0]100	風化が著しく粘土化している。 層理面がわずかに認められ，薄い砂層を挟む。 層理面の角度は30度程度。	1/6 1.99
3	338.45	4.60		泥岩	暗灰	w4	h2	E	Ⅶ	d	D	0[0]100 8[0]100	風化著しく粘土状。軟質で指圧で容易にへこむ。 微細砂の薄層を挟む。層理面の角度は20～30度程度。	
5	336.05	7.00		泥岩	黒灰～暗青灰	w3	h2	D C	Ⅴ Ⅳ	c	CL	24[57]100 15[28]100	泥岩と砂岩の互層状を呈すが泥岩が優勢。 GL-5.0mまでは，短柱状で採取されるが，比較的軟質でハンマーで層理面に沿って割れる。 GL-5.0m以深から硬質となり短柱状コアが主体となる。所々，薄い石炭層を挟む。層理面の角度は5～10度程度。 GL-5.7m以深から流紋岩の礫や岩塊を混入する。	1/7 6.28

標準貫入試験　深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8	1.15	8/300		
	1.45			
13	2.15	13/300		
	2.45			
37	3.15	37/300		
	3.45			
24	4.15	24/300		
	4.45			
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	貫入不能		
50以上	7.00	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
			200	66／ケーシング	66 シングル 打込み／打込みシュー	0 0	50 0	0	約0	0
			130	66	W／メタル	0	120	0	W2 10	9
		1/5	110		W／ダイヤ	0	130	0	W2 6	5
		1/6	100			0	150	0	W2 8	7